事業所における自己評価表の集計結果

公表：2019年3月　事業所名：そら（放課後等デイサービス）

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	0		・利用者が多い時には狭いと感じることがある。パーテーション等を利用して、落ち着きを失った児童が静養できるスペースを作りたい。
	②	職員の配置数は適切である	5	0	・職員数は普段から多めに配置するようにしている。	
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5	0	・障害福祉施設の要件を満たした上で建築している。	
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	2	3		・目標を具体的に設定することで評価を明確にし、次のアクションに繋げたい。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	0		・保護者等の意向を受け、可能な限り要望に添えるよう、努めていきたい。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	0	・ホームページで公表している。	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	5		
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	0	・年間を通じ、希望者が研修に参加できるようにしている。	
適切な支援提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5	0	・定期的に話し合う機会を設定し、保護者のニーズをうかがっている。	
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	2	3		・導入に向けて検討する。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	0		
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	0	・今後も工夫を続けたい。	
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	0	・平日は曜日ごとにプログラムを設定。休日、長期休暇には工場見学、体験学習などで、集団行動、社会規範などを学べるよう取り組んでいる。	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	5	0	・その日の（短期的な）児童の状況によっても変更できるよう計画を作成している。	
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	0	・事前に決めた支援内容や役割を、ボードに表すなど、全職員が確認できるようにしている。	
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2	3	・翌日の朝礼で共有できている。その日のうちに伝えなければならないことは伝えている。	
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	1	・個別の支援日誌は、その日のうちに記録しているが、記録者の主観に偏ることもある。翌朝礼で話し合い、客観的に把握できるよう努めている。	
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5	0	・個別支援計画の達成時期に合わせてモニタリングを行い、見直しの必要性を判断している。	

事業所における自己評価表の集計結果

公表：2019年3月　事業所名：そら（放課後等デイサービス）

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	5	0	・複数を組み合わせた支援計画を作成している。	
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	0	・最もふさわしいものが参画している。	
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	5	0	・保護者を通じて情報共有できない場合、直接学校に連絡を取っている。また、担当教員と児童の体調等の引き継ぎも行っている。	
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0	5	・対象児が在籍していないが、受け入れる場合は全職員が対応できるよう情報共有したい。	
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	2	3	・基本的には相談員を通して情報を共有するが、必要に応じて直接情報を受けることもある。	
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4	1	・担当の指導員から情報を提供している。	
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	0	・毎年職員が研修に参加するようにしている。	
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	5	0	・休日や長期休暇には、積極的に地域のイベントに参加するようにしている。	
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	5	0		
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	0	・毎日の連絡帳や送迎時に伝えるようにしている。定期的に保護者との面談も行い共通理解できるよう努めている	
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	3	・個別には相談、助言を行なっている。	・さらに良い支援が行えるよう、職員間の共通理解を深めたい。
保護者への説明責任等	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	0	・契約時に詳しく説明している。変更があれば改めて説明する。	
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	0		
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5	0	・年に数回、交流を行なっている。（30年度は4回開催）	
	㉝	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5	0	・苦情があった場合は、迅速かつ適切に対応できるようにしている。	
	㉞	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	0	・ホームページで活動内容や、子どもの様子を発信している。また、重要なお知らせは書面で周知するようにしている。	
	㉟	個人情報に十分注意している	5	0	・利用者、職員共に個人情報についての同意書を取り交すなど、十分注意している。	
	㊱	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0	・子ども、保護者共にできるだけわかりやすく伝えるよう配慮している。	

事業所における自己評価表の集計結果

公表：2019年3月　事業所名：そら（放課後等デイサービス）

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	㊲	事業所の行事に地域住民を招待する等 地域に開かれた事業運営を図っている	1	4	・そらキッチンでは契約児童の保護者以外も参加できるようにお知らせしています。	
非常時等の対応	㊳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、 感染症対応マニュアルを策定し、 職員や保護者に周知している	3	2	・職員間では共有しているが、保護者には周知していない。	・ホームページ等で掲載し、周知できるようにしたい。
	㊴	非常災害の発生に備え、定期的に避難、 救出その他必要な訓練を行っている	5	0		
	㊵	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、 適切な対応をしている	5	0		
	㊶	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、 組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し 了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	0	・実際には身体拘束を行わないが、身体拘束についての同意書で保護者の理解を得ている。	・今後必要になる可能性はあるので、研修等で知識を深めたい。
	㊷	食物アレルギーのある子どもについて、 医師の指示書に基づく対応がされている	5	0	・保護者からの情報を受け、配慮して対応しているが、医師の指示書は未確認。	・指示書がある場合は保護者に提示を求める。
	㊸	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	0		